

## 第 52 回インナーゼミナール大会

### 研究計画書

ゼミ名	高ゼミ	チーム名	ゼミ高岡家
タイトル	世界最先端企業の探究		
テーマ群	a)理論・情報、c)国際経済、		
メンバー	山下めぐみ、稲森詩織、粕谷紅葉、砂金里呼、櫛谷弘貴、中本悠水、児島佑星、武市海輝		
研究計画内容	<p>世界の IT 産業において、Google と Apple に焦点をおいて研究してきた。</p> <p>Apple は 1976 年にスティーブ・ジョブズら 3 人によって創業された。2007 年に発売された iPhone がタッチスクリーン技術やアプリストアの導入により大ヒットしたことで、全世界の上場企業として 2023 年 1 月 3 日、時価総額 3 兆ドルを超えるなど、世界有数の IT 企業となった。</p> <p>Apple は自社独自の技術を他社に模倣されないようにするためクローズド戦略をとり、iOS を他社には使わせないようにしてきた。Apple は、iPhone のような新しいコンセプト製品を導入する際クローズド戦略を採用した。この戦略では、製品が成長期に至るまでに人気が出ずに消えてしまうリスクがあるが、Apple はそのリスクを乗り越えて成功した。なぜ日本で iPhone の利用率が高いのか、それはブランド力、独自のデザイン性、操作性である。</p> <p>次に Google について述べる。</p> <p>Google は 1998 年 9 月 4 日にラリー・ページとセルゲイ・ブリンの 2 人によって創立された。当初の会社名は Backrub という名前であったが、「googol」という数字用語をもじって Google になった。私たちはまず Google の収入源について分析した。Google の売上高は創業以来上がり続けている。上がり続けた要因は大きく分けて 3 つある。</p> <p>一つ目は、Google が初めて開発した検索エンジンだ。検索エンジンの中にはパーソナライズド検索がある。ユーザーの利便性を高めることを目的としている。</p> <p>二つ目は、Google Pixel の開発だ。2016 年に自社開発の Google Pixel シリーズを発売した。2018 年には Google Pixel 3 シリーズから日本での展開を開始した。Google が自社開発で Pixel を展開している理由として、Google のサービスを広げ、“Google”ブランドを活かして OS の Android から完成品までを一貫生産し、大きな収益を見込めることが挙げられる。強みの一つとして、Google が初期から力を入れていた AI 機能の豊富さがある。</p> <p>三つ目は、広告だ。宣伝する場所や宣伝する相手（ユーザー）を細かく設定し、多くの掲載場所で、多種多様なユーザー層を指定して宣伝できる。検索エンジン、YouTube、アプリストア、Google マップという無料で提供しているサービスから、ユーザーの行動データを収集している。</p> <p>今回の発表では、iPhone と Google Pixel の二つを比較し、それぞれの強みを紹介する。</p> <p>参考文献 閲覧日 2024 年 10 月 2 日最終更新日 2020 年 9 月 20 日「シェアは 92.2% ! Google 検索が世界一になった理由とは??」<a href="https://gendai.media/articles/-/75440?page=2">https://gendai.media/articles/-/75440?page=2</a></p>		